

ジェット延長提案を断固拒否し、1/8-9減産闘争に決起

日刊 動労千葉

81.1.18 No. 全国版 75

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五六(公衆電話)22七二〇七

81.3年争へむけた一月総決起行動の突破口を切り拓く

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
全国の動労組合員の皆さん。動労千葉は、去る一月八日、千葉鉄当局のジェット燃料暫定貨車輸送の二年八ヶ月延長の提案強行に対し、これを断固として拒否し、八日九日の両日、抗議の減産闘争を闘い抜きました。われわれは、国鉄当局・動労「本部」反動分子一体となった動労千葉破壊、八一・三闘争破壊策動を断固粉碎し、一・八く九減産闘争を突破口とした一月総決起行動を闘い抜き、八一・三闘争の爆発をかならず貫徹するであらう。
◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

ジェット延長強行提案抗議・不当解雇撤回・一・八く九減産闘争に決起

千葉鉄当局は、去る一月八日、動労千葉に対し三里塚空港ジェット燃料暫定貨車輸送の二年八ヶ月延長を強行提案してきました。これに対し、われわれは、「輸送期間は三年間という労使の約束をやぶるのか」「危険なジェット燃料輸送には反対だ」と怒りを込めた激しい追及を行ない当局提案を拒否すると同時に、この当局のジェット延長提案強行に対する先制的闘いとして同日始発(業)時より四八時間の減産闘争に突入しました。

この闘いは、同時に昨年十二月二四日、布施組織部長に対する不当解雇撤回をもあわせた闘いとして全支部・全職場から決起したのです。減産闘争初日の八日、動労千葉は、当局のジェット延長提案をまえにして、午後二時より千葉運転区講習室において、全支部活動家会議を開催し中野書記長から六日の第二回支部代表者会議の決定にふまえた八一・三闘争勝利・一月総決起行動の具体的な方針が提起され、断固とした闘いに決起することを全体が確認しました。

続いて、千葉鉄当局のジェット延長提案の場合に全員が参加し、当局を激しく追及し、ジェット延長提案を拒否し、あくまでも燃料輸送阻止を断固闘い抜くことを明らかにしてきました。こうして、二日間の減産闘争は、全支部・全職場で闘い抜かれ、運休八本・管内遅延時分約八千分をはじめ地上勤務者においても大きな闘いの成果を上げ、一月総決起行動の突破口としての闘いが貫徹されました。

八一・三ジェット闘争破壊・動労千葉破壊策動を一層強める動労「本部」反動分子

今日、動労「本部」反動分子は、破壊した「水本謀略」にかわって、「これこそ反ファッショ統一戦線の唯一の闘い」として「小谷問題」を持ち回っています。しかしそれも、つぎつぎと賛同人・賛同団体から署名の撤回がつきつけられ、「運動」にもならない状況へと追い込まれています。至極当然の結果といえましょう。

「五五・一〇ダイ改」「乗務員運用合理化」に率先協力し、全国の戦闘的国鉄労働者の闘うべきを圧殺し、自らのみ「三五体制」下で生き延びようとする極めて反階級的・裏切り路線を一方で推進し、一方で「小谷問題」のみを唯一の運動として取り組むなどということ自体、破壊はすでに約束されているようなものだからです。千葉においても、昨年末以降、裏切り分子土屋粹や銚子支部内の一部右翼悪質分子と結託して、銚子支部破壊策動を強めています。

とりわけ重要なことは、わが動労千葉が八一・三闘争勝利にむかって闘う陣型を築こうとするその矢先きに、国鉄当局と連動した動労千葉破壊II銚子支部デッチ上げ「再建」策動を強めていることとであります。われわれは、こうした動労「本部」反動分子を絶対に許さず、当面、銚子支部破壊策動粉碎行動に全組織力を上げて決起し、八一・三闘争勝利にむかって前進していきます。

全国の動労組合員の皆さん。今こそ、国鉄三五万人体制粉碎・動労大改革にむかって共に立ち上ろうではありませんか。

